



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第78号

発行:2012年10月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



本郷クリニックの目指す将来像と展望 ～地域のニーズに応えたい～

本郷クリニック 院長 小林 慎一郎

2011年4月から本郷クリニック院長に就任いたしました小林慎一郎と申します。当院は「内科・呼吸器内科」を標榜しておりますが、小学生以上のお子さんの診療や予防接種などにも対応しており地域の幅広い年齢層の患者さんのニーズに応えられるクリニックを目指して診療を行っています。

当院の専門科である呼吸器内科についてですが、呼吸器疾患は一般的な「上・下気道感染症」をはじめ「気管支喘息」、「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」、「肺癌」、「間質性肺炎」、「気管支拡張症」、「睡眠時無呼吸症候群等」など、その範囲は非常に広く、また加齢と共に機能低下をきたす器官でもあることから現代の高齢化社会と合わせてQOLに及ぼす影響も極めて大きい疾患群です。

ところが現在、全国的にみても呼吸器内科医は充足しているとは言い難く、日本呼吸器学会の調査でも絶対的な呼吸器内科医の不足と都道府県を越えた都市圏・地方圏の偏在を指摘されております。

当エリアにおいても例外ではありませんが、最近では近隣の住民の方々からの呼吸器内科としての当クリニックの認知度も上がってきているようで、初診の気管支喘息の患者さんやCOPDの患者さんが増えつつあります。更には大学病院を初めとした近隣医療機関から患者さんを御紹介いただくケースも増えてきております。

当クリニックの今後の展望としては糖尿病や高血圧、脂質異常症など生活習慣の是正が重要である生活習慣病はもちろんのこと、「禁煙外来」や

「気管支喘息」、「COPD」など患者さんの病気への知識と理解が重要とされる疾患群に対しては看護師も含めた生活・療養指導にも重点を置いていき、さらなる診療内容の充実を目指したいと考えております。

また原因や治療方法についてもまだまだ未知な部分が多い「間質性肺炎」や「気管支拡張症」、そして生活習慣病や肥満に付随して増加傾向にある「睡眠時無呼吸症候群への持続式陽圧呼吸療法（CPAP）」、さらには「慢性呼吸不全に対する在宅酸素療法（HOT）や非侵襲的陽圧換気療法

（NPPV）」などで悩まれている患者さんの受け入れも積極的に行い、専門的診療にもますますの拡大と充実を図っていきたい所存です。

最後となりますが、当クリニックは呼吸器疾患のみならず身近な風邪、花粉症、そして高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病も含めて地域の幅広い患者さんのニーズに応えられるクリニックを目指してまいりますので今後とも本郷クリニックをよろしくご厚意申し上げます。

※ 2011年4月1日～2012年9月30日における 当院の主な診療実績

気管支喘息	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	気管支拡張症	間質性肺炎	肺 癌
131名	25名	15名	4名	3名
アスベスト 関連疾患	禁煙外来	睡眠時無呼吸症候群 (CPAP治療)	肺炎球菌 ワクチン	子宮頸癌 ワクチン
2名	21名	5名	74名	42名

敬老の日

～感謝の気持ちを新たに～



【会場風景】

平成24年9月21日（金）阿久和鳳荘で敬老会を開催しました。冒頭、上村事務長から「今の豊かな日本があるのは皆様のおかげです」と感謝の言葉があり会はスタート。お祝いに駆けつけてくれた近隣保育園の園児から、歌とダンスのプレゼントをして頂くと、会場は何とも温かい雰囲気。さらに利用者一人ひとりとの交流の場面では、嬉しくて涙する利用者もいらっしゃいました。皆さん、まだまだ長生きして下さいね。



【まずは自己紹介】



【にらめっこ3回勝負：
これは子どもたちの圧勝！誰もあの笑顔
（変顔！？）には勝てません...】



【肩たたき：気持ちよさそう～】



【昼食祝い膳：
松茸ごはん、天ぷら等】

ほうゆう秋祭り



【みんなで盆踊り】



【落花生ぷりん】

平成24年10月3日（水）横浜ほうゆう病院でほうゆう祭りを開催しました。秋空の下でお祭り気分を味わって頂こうと計画していましたが、当日は雨模様・・・。急遽院内での開催となりました。広さの都合上、各病棟に分かれての開催となり、人数が少なくさみしい感じがしましたが、盆踊りやお神輿を担ぎ、ご家族の方々と楽しいひとときを過ごすことができました。

体を動かした後は、お待ちかねの「おやつ」。今年は、病院の畑で育てた落花生でプリンを作ったところ、これが大好評。味覚でも秋を堪能できました。



【神輿だワッショイ！】